

---

製品名：消石灰

---

1. 製品及び会社情報

製品名 : 消石灰  
会社名 : 全国農業協同組合連合会  
担当部署 : 耕種資材部  
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F  
電話番号 : 03-6271-8285  
FAX番号 : 03-5218-2536  
電子メールアドレス : zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡番号 : 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

---

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1 GHS 分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	: 分類対象外
可燃性／引火性ガス	: 分類対象外
エアゾール	: 分類対象外
支燃性／酸化性ガス類	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分外
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：気体）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	: 分類できない
水生環境有害性（慢性）	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

## 2.2 GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H315：皮膚刺激  
H318：重篤な眼の損傷  
H370：臓器（呼吸器系）の障害

注意書き

[予防策]

P260：粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[対応]

P305＋P351＋P338：眼に入った場合；水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P308＋P311：ばく露またはばく露の懸念がある場合医師に連絡すること。  
P332＋P313：皮膚刺激が生じた場合；医師の診断／手当てを受けること。

[廃棄]

P501：内容物／容器を国・地域のすべての法規に従い廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別 化学物質

3.2 化学名又は一般名 別名 消石灰

成分	濃度又は濃度範囲	CAS No.	官報公示整理番号
水酸化カルシウム Ca(OH) <sub>2</sub>	92%以上	1305-62-0	化審法：(1)-181 安衛法：公表

## 4. 応急措置

4.1 応急処置要領

吸入した場合

多量に吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動させ、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水又は石鹼水で十分に流しながら洗浄する。

眼に入った場合

眼球を傷つける恐れがあるため、眼を擦らないで、清浄な水で充分洗浄し（できればコンタクトレンズをはずして）、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

清浄な水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。

4.2 最も重要な兆候及び症状

データ無し

4.3 医師、及び応急処置をする者に対する特別注意事項

救護者が有害物質に接触しないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

- 5.1 消火剤 周辺火災の場合は、すべての消火薬剤の使用可。
- 5.2 特定の消火方法 不燃性であり、火災・爆発の危険性はない。  
注水は飛散防止に配慮する。
- 5.3 消火を行う者の保護 消火作業の際は必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項 処理作業の際には保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用し、粉塵を吸入したり、皮膚への付着を防止する。
- 6.2 環境に対する注意事項 シート等で覆い、飛散拡大の防止を図る。河川等に流入しないように注意する。
- 6.3 除去方法 粉塵が発生しないように掃き取り、乾燥した空容器に回収する。
- 6.4 二次災害の防止策 取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 取扱い

- 技術的対策 皮膚、眼との接触、粉塵の吸入を避けるため、保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用する。
- 注意事項 粉塵の発生を極力抑え、適切な集塵装置を設置する。  
ミストの発生を防ぐ。

### 7.2 保管

- 適切な保管条件 密栓して乾燥した冷暗所に保管し、大気との接触を避ける。  
防湿に留意する。  
強酸から離しておく。
- 安全な容器包装材料 耐アルカリ性容器を用いる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度、許容濃度

化学名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
水酸化カルシウム	設定されていない	第3種粉塵 吸入性粉塵：2mg/m <sup>3</sup> (TWA) 総粉塵：8mg/m <sup>3</sup> (TWA) (2015年)	TLV：5mg/m <sup>3</sup> (TWA) (2014年)

### 8.2 ばく露対策

- 設備対策 粉塵が発生するような場所は、局所排気装置を設置する。
- 保護具
- 呼吸器用の保護具 防塵マスク
  - 手の保護具 保護手袋（ケミカルグローブ）
  - 眼の保護具 保護メガネ（ゴーグル型）
  - 皮膚及び身体の保護具 保護衣（体の露出部分が少ない長袖作業服等）

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状態

形状	固体
色	白色
臭い	無臭
pH	12.4 (飽和水溶液) <sup>4)</sup>

### 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

分解温度	580℃ (水を失って酸化カルシウムとなる)
引火点	不燃性でありデータなし
発火点	不燃性でありデータなし
爆発特性	不燃性でありデータなし
比重	2.24
溶解性	水に僅かに溶ける。 水 0.14g/100g (25℃) <sup>6)</sup> グリセリンに溶け、アルコールには溶けない。

## 10. 安定性及び反応性

10.1 反応性	酸性溶液に可溶である。 酸類と反応し発熱する。 強酸化剤と反応する。 空気中に放置すれば、二酸化炭素を吸収して炭酸カルシウムとなる。 水の存在下で、多くの金属を侵し、引火性/爆発性のガス(水素)を生成する。
10.2 安定性	安定、不燃性。 加熱すると、分解し、酸化カルシウムを生じる。
10.3 避けるべき条件	水に微溶であるが、水溶液は強アルカリ性を呈す。
10.4 危険有害な分解生成物	酸化カルシウム

1.1. 有害性情報	
急性毒性	経口ラット♂ LD <sub>50</sub> > 6500mg/kg <sup>2)</sup> 経口ラット♀ LD <sub>50</sub> 7691mg/kg <sup>2)</sup> 経口マウス♂ LD <sub>50</sub> 5494mg/kg <sup>2)</sup> 経口マウス♀ LD <sub>50</sub> 5268mg/kg <sup>2)</sup> 経口ラット LD <sub>50</sub> 7340mg/kg <sup>3)</sup> 経口マウス LD <sub>50</sub> 7300mg/kg <sup>3)</sup>
皮膚腐食性/刺激性	炎症を起こすことがある。皮膚炎の原因。 <sup>9)</sup> 眼および気道を含むすべての身体表面暴露に対し中程度の刺激性を示すと記述 (ACGIH, 7th, 2001) <sup>10)</sup> ヒト皮膚に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述 (IUCLID, 2000; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTI G, 4th, 2002; HSFS, 2005) <sup>10)</sup>
眼に対する重篤な損傷/刺激性	眼に入った場合には、充血することがある。(刺激性) ヒト眼に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; IUCLID, 2000; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTI G, 2002; HSFS, 2005) <sup>10)</sup> ウサギに対して corrosive な刺激を示すとの記述 (IUCLID, 2000) <sup>10)</sup> ウサギ 10mg; 重度の刺激性 激しい目の刺激性
呼吸器感作性/皮膚感作性	呼吸器感作性, 皮膚感作性: データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTI G, 4th, 2002; HSFS, 2005) <sup>10)</sup>
特定標的臓器毒性(反復暴露)	Priority 2 においてヒト肺を冒すことがあるとの記述 (ICSC(J), 1997; SITTI G, 4th, 2002) <sup>10)</sup>
吸引性呼吸器有害性	データなし
1.2. 環境影響情報	
12.1 生態毒性	
魚毒性	データなし
12.2 残留性/分解性	データなし
12.3 生体蓄積性	データなし
12.4 土壤中の移動性	データなし
12.5 オゾン層への有害性	モントリオール議定書の付属書に記載されていない。
1.3. 廃棄上の注意	
13.1 残余廃棄物	水溶液は強アルカリ性であり、中和等の処理をおこなう。 廃棄においては、関係法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
13.2 汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。



#### 14. 輸送上の注意

14.1 国連番号	該当しない
14.2 国連輸送品名	なし
14.3 国連分類	なし
14.4 容器等級	なし
14.5 海洋汚染物質	該当しない
14.6 輸送の特定の安全対策及び条件	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。
14.7 緊急時応急措置指針番号	なし
14.8 MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードによるバラ積み輸送される液体物質	該当 (Z類 水酸化カルシウム)
14.9 その他の注意事項	国内規制 海上規制 海洋汚染防止法の規制に従う

#### 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
労働安全衛生法	第 57 条の 1 項 名称等を表示すべき有害物 (施行令第 18 条 第 1 号、第 2 号別表 9 : 317) 第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物 (施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表 9 : 317)
毒物及び劇物取締法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
港則法	該当しない
消防法	該当しない
海洋汚染防止法	施行令別表第 1 有害液体物質 Z 類 (75 ; 水酸化カルシウム)

#### 16. その他の情報

##### 引用文献

- 1) 化学便覧 改訂 4 版 (1993 年)
- 2) 石灰 No. 443 (1992 年 11 月)
- 3) ケミカルデータサービス・化学品情報 (1993 年 1 月)
- 4) 化学品安全管理データブック (1996 年 3 月)
- 5) 化学大辞典 共立出版 (1997 年)
- 6) 16716 の化学商品 化学工業日報社 (2016 年)
- 7) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 付属書 3 日本化学工業協会
- 8) 化学物質情報 安全衛生情報センター
- 9) 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版 ICSC 番号 0408
- 10) 化学物質総合検索システム (CHRIP) 製品評価技術基盤機構 (nite)
- 11) 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース株式会社

## 記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

※この製品安全データシートは各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱には十分に注意して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

本 SDS は、下記株式会社東北鉄興社の情報を元に作成しました。該当物質については下記にお問い合わせください。

製品名	消石灰
会社名	株式会社東北鉄興社
住所	岩手県一関市東山町松川字滝ノ沢198番地
担当部門	品質保証部 品質保証課 品質保証係 電話番号 0191-48-2312 FAX番号 0191-48-2469
緊急連絡先	宇部マテリアルズ株式会社 カルシア関連事業部 東北販売部 販売課 電話番号 022-265-2160 株式会社東北鉄興社 業務課 業務係 電話番号 0191-47-2244 (携帯 090-4312-3322)